

幼児期の
学びの芽生え

シャボン玉遊び・シャボン液づくりを通して 5歳児(5月)

ねらい

シャボン玉遊びを通して、開放感や感触を十分味わうと共に、友達と刺激を合いながら、自分なりに考えたり、試したり、気付いたりすることを楽しむ

発達・教師の援助
環境構成のポイント

心地よい季節に、戸外で大量のシャボン玉に触れ、シャボン玉の美しさ、不思議さ、面白さなどに心動かせるよう講師を招く。またシャボン玉づくりを体験させてもらうことで、翌日以降の遊びの意欲、興味、探究につなげていく。

実践内容

幼稚園に講師をお招きし、シャボン玉の世界を存分に味わって…



健康な心と体

シャボン液づくりも教わり、グループの友達と協力して初挑戦！



白い粉を入れて…

さあ、できたか確かめるね

うまくだきたかな…ドキドキ

翌朝、できあがったシャボン液で早速、シャボン玉遊び！
シャボン玉遊びの道具は、あえて既製品は出さず、自分たちでつくる環境を整えることで、試しや気付きを促します。

そして繰り返し遊ぶ中で、様々なことに気付いていきます。



数量や図形、標識や
文字などへの関心・感覚

確か(講師の)〇〇さん、昨日、
こんな紐使ってシャボン玉つく
ってたよな…

ふ〜…ほら！
ゆ〜っくり吹いたら
こんな大きい！

思考力の芽生え

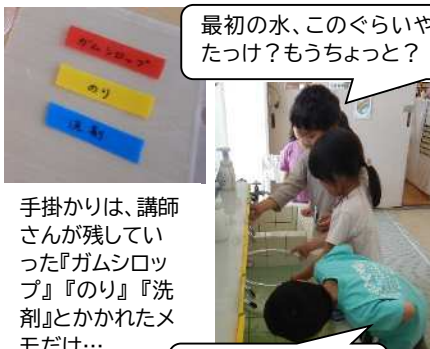


うわ！不思議！指入れても、シャ
ボン玉、割れへん！なんで？！

シャボン液がなくなったら、体験を思い出し、自分たちだけでつくることにも挑戦！

あの白い粉って何やる？砂糖
と塩、どっち入れる？

今日のシャ
ボン玉大作戦は
どうだった？



最初の水、このぐらいやっ
たっけ？もうちょっと？

手掛かりは、講師
さんが残してい
った『ガムシロ
ップ』『のり』『洗
剤』とかかれたメ
モだけ…

OK！ストップ！
確かそんなもん！



じゃ、洗剤
入れるで

ちょっと
ずつね

言葉による伝え合い



う〜ん…どっち
も入れてみる？

協同性



昨日より、ガムシロ2個増
やしたらうまかった！

みんなで振り返り、共有し、
明日の気付きへつなげます

保育を振り返って 1年生につながるもの:好奇心、探究心、挑戦心、思考力、言葉の伝え合い、達成感
子どもたちは、心動かす感動体験により、好奇心や意欲を抱き、自ら動き出す。そして友達と刺激し合いながら、自分なりに繰り返し試し、考え、工夫していくうちに、様々なことに気付き、その気付きが、さらなる驚きや不思議さ、面白さ、達成感などを生み出し、新たな好奇心、探究心へとつながっていくことがわかった。また 5歳児では、グループの友達と「シャボン液づくり」という共通のめあてをもつことで、思いや考えを言葉で伝え合ったり、協力したり、役割分担したりして、個々の楽しさが集団の楽しさ、達成感へとつながっていく。